
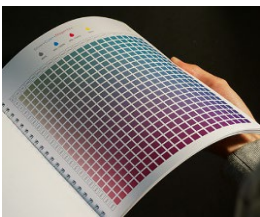
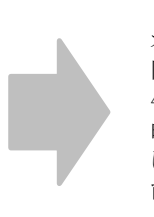
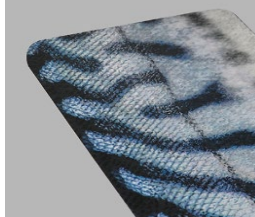






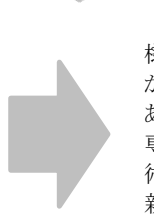
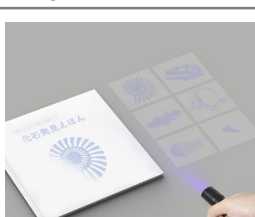


2020年度最終審査結果 受賞テーマとデザイン提案の例

<p>テーマ 42億色を鮮やかに表現する「オンデマンド印刷技術」 企業：株式会社千葉印刷（渋谷区）</p>		<p>提案 オンデマンド印刷の新しいカタチー 視覚と触覚で楽しむプロダクト 提案者：井下恭介、増谷誠志郎 (SANAGI design studio)</p>
 <p>メタリック表現や特殊色の印刷が可能なオンデマンド印刷機「イリデッセ」を使用。特色と色再現性・安定性に優れたプロセス4色を印刷時に指定することで希望とする色表現を幅広く印刷対応することが可能に。</p>		<p>オンデマンド印刷の技術を最大限に生かした、プロダクトの提案。42億色を鮮やかに表現し、特徴的なメタリック印刷により、今までになかった紙の上での表現を可能にしている。</p> 
<p>テーマ 精密な柄合わせと職人芸が光る「革製品製造技術」 企業：有限会社東屋（墨田区）</p>		<p>提案 東屋（azumaya）ビジネスデザインプロジェクト 提案者：清水 覚（オクノテ）</p>
 <p>原皮やなめし方、色にこだわり厳選した革を使い、熟練の職人の手によって1つ1つ丁寧に製作。小ロット生産ならではの良さを生かし、デザインや素材、細部にこだわったオリジナル製品を多数製作する。</p>		<p>創業から100年培ってきた革小物製造技術とそれを守る職人を生かせる、企業のビジョンと規模に合った、マーケティング・ブランド観点の課題解決と既存商品のリブランディングの提案。</p> 
<p>テーマ 確かな課題解決力で培われた「シール・ラベル印刷加工技術」 企業：株式会社日本ラベル（板橋区）</p>		<p>提案 特殊ラベル印刷技術を用いた新しい遊び体験の提案 提案者：井下恭介、増谷誠志郎 (SANAGI design studio)</p>
 <p>シールなどの糊のついた素材を取り扱うノウハウと、小ロットでの試作が可能な後加工機を多数保有。自動調色機に加え、オペレーターが特定の色を調合して作る特練り技術により、確かな色を表現できる。</p>		<p>様々な特殊ラベル印刷技術を生かした、室内で楽しめる特徴のあるシールと、それに合わせた専用プロダクト。企業の特つ技術を応用し、新規ビジネスにより新たな市場をつくり発展させていく提案。</p> 

2021年度 東京ビジネスデザインアワードの流れ(予定)

<p>企業からテーマを募集 (4月14日～6月25日)</p>	<p>都内ものづくり中小企業から、自社保有の高度な技術や特殊な素材などを「テーマ」として募集。</p>
↓	
<p>テーマ発表 (9月)</p>	<p>審査委員会が10テーマ程度を選定し、HP等にて発表。</p>
<p>デザイナーからの提案募集 (9月～11月)</p>	<p>選定テーマに対し、デザイナーがあらゆる可能性を検討し、新たな用途開発を軸とした事業全体のデザインを提案。</p>
↓	
<p>一次審査・二次審査 (11月)</p>	<p>一次審査・二次審査を経て、テーマ毎に企業とデザイナーのマッチングが成立したものを「テーマ賞」として選出。</p>
↓	
<p>最終審査・表彰式 (2022年2月)</p>	<p>テーマ賞の中からデザイナーの公開プレゼンテーションにより、「最優秀賞」・「優秀賞」を決定。</p>